

新型コロナウイルスについて

2020年1月23日の時点で判明した新型コロナウイルス感染者数は571名にのぼります。当初は中国武漢市で多く報告されていた感染症ですが、北京市、上海市、広東省などで新たな患者が発見されています。タイ、日本、米国、台湾など国外での感染者も次々と発見されています。死亡者はすでに17名報告されました。今回流行している新型コロナウイルスの主たる症状は発熱であり、呼吸困難を訴える患者もいるようです。胸部レントゲンでは肺炎所見があるようですが、中国では現時点では「肺炎を認める患者について新型コロナウイルス感染を疑っている」状況なので、肺炎のない新型コロナウイルスの感染者がどれくらいいるのかまだ分かっていないのが現状だと思います。

中国・武漢市衛生当局は新型コロナウイルスの感染者数を1月12日時点で「45人」と発表しました。しかし、17日には英国・インペリアルカレッジロンドンの研究チームが論文で「12日時点で武漢市内では1,723人が感染していた」とする推計データを発表しました。研究チームは武漢の空港での国際線利用者数と中国、国内外でこれまでに報告された感染者の数をもとに推計したものです。英国メディアによると、研究チームは「これまでよりも真剣にヒトからヒトへの感染の可能性を懸念すべき」と指摘しています。

感染源についてはやはり海鮮市場で売られていた野生動物の可能性がありそうですが、武漢市での症例のうち海鮮市場との関連のない症例があることも報告されていますので、閉鎖された海鮮市場以外にも感染源があるかもしれません。

現時点では、感染が確認された人は感染者と濃厚な接触があった家族や人に限られています。同居して感染者を看病するなどヒトからヒトへの感染性は低いと思われます。

報道によると「ウイルスが変異する可能性」が指摘されています。しかし、ウイルスの特徴がどんどん変化するというよりは、新興感染症が発見された当初には分からなかったことが、研究・調査により解明されることが多く、中国でのこの見解はやや懐疑的だと思います。どちらにしても、ウイルスの変異があるうとなかろうと、やるべき対応策は同じです。

新型コロナウイルスに対する特效薬はありません。いわゆる対症療法といって、解熱剤などで症状を緩和し、必要に応じて呼吸や循環を支える治療を行いながら、自らの免疫による回復を待つこととなります。栄養アプローチとしては、オリーブ葉エキス、ビタミンCを中心にビタミンA、ビタミンB群、タンパク質などを十分に補給することが勧められます。

そして、人混みには極力行かないようにする、行くときはマスクをする、外から帰ったら手洗いやうがいをするなどを心がけてください。また、呼吸器症状のある人は外出を避けることも感染拡大をふせぐために大切なことです。

引用元：

新しいコロナウイルス感染の肺炎に関する武漢市保健衛生委員会の報告（ECDC. Risk Assessment: Cluster of pneumonia cases caused by a novel coronavirus, Wuhan, China）。

WHO. Novel Coronavirus – Thailand (ex-China)。

WHO. Novel Coronavirus – Japan (ex-China)。

厚生労働省. 新型コロナウイルスに関連した肺炎の患者の発生について。

Ministry of Public Health Thailand. Ministry of Public Health receives 2 tourists from Wuhan for pneumonia at Bamrasnaradura Institute 2020（2020年1月17日）。